

ら い 来 ぶ ら り 69

新入生を迎えて春爛漫の木立の奥に大学図書館があります。大学生活に慣れてきたら一度来てみて下さい。沢山の本が皆さんを待っています。

私が新入生だった頃と、世の中の表面は随分変わりました。生活の中の道具にしても、携帯電話は言うに及ばず、TV、エアコン、...、その頃にはなかったものばかり、これを書いているパソコンなど存在の予感すらありませんでした。(電子計算機は揺籃期だったのですが。)その中で本は、電子辞書の出現などはあるにせよ、基本的には変わっていないものの一つです。そしてちょっとお説教っぽいですが「勉強の基礎は本を読むことにあり」ということも古来不変です。静かな閲覧室にいつとき身を置いて御覧なさい。本の精気が身を包むでしょうか。

そんな図書館でありたいものです。あるいはニュートン全集(理学部図書室[数学]にあります)の前に立ってみると、ニュートンは蠟燭とランプの時代にこんなにも多くのものを書いたのかと圧倒されるでしょう。

本とのかかわり方は、濫読、精読、無読(?)など千差万別でしょうし、分野(例えば文系、理系)によっても随分違うでしょう。文庫本一日一冊というような伝説もありますが、一方私の専門の数学では、学生・院生時代に、自分の肌に合う本を読み込むことが大切と言われています。昔のことですが、ある大学院の口頭試問で、「今までに

読んだ(数学の)本の中で最も印象的であったものの、著者と題名と表紙の色を言え」という問があったという伝説すらあります。表紙の色を言えないようでは読み込み不足? 私自身は、本との出会い、と言って語れるような強烈な経験は持っていないのですが、それでも大学院生の時のセ

ミナー(いわゆるゼミ)で読んだ77頁の本を思い出します。本を読んでいて、自分でよく考えないと先に進めないとき行間を読まねばならないと言いますが、この本は行間を読み込まねばならない本で、セミナーで読み終えるのに半年はかかったはずですが、自分で見つけた本ではなかったけれど、本との出会いの一つであったとは言えるでしょう。

このような読み方は勉強の方向が定まって迷いがなくなると、自分を鍛えるための読み方です。方向を見定めたいときの読み方は全く違うでしょう。皆さんが、大学の4年間専門の勉強を積んで自らを鍛え、また知的な教養を広げていく中で、多くの本とのいい出会いをもたれることを祈り、図書館がそのお役に立つことを望んでいます。

最後に、これは在学生への苦言を一つ。昨年夏休み前に「図書館利用者アンケート」をしました。そこに書かれた苦情に、「閲覧室が私語でうるさい」というのが多くありました。図書館では「閲覧室は静粛に」がルールです。ルールは守る、それだけに尽きます。

本への招待

図書館長
黒田 成俊
(理学部教授)

四大学図書館

相互利用

四大学の図書館の本を借りることができるようになりました。

四大学（学習院大学、成蹊大学、成城大学、武蔵大学）所属の教職員・学生は所属図書館の紹介状がなくても身分

図書館所蔵の図書に限定。学部や研究室等の図書は借りられません。

試験期等借りられない期間があります。

利用方法、利用条件等は、各大学で異なります。

証明書または学生証を提示すれば、相互に館内閲覧ができますが、今年の4月から、図書の貸出を受け

詳細については、学習院大学図書館のホームページを見るか（ここから四大学図書館のホームページにリンクしています。学習院大学図書館ホームページ <http://www.glim.gakushuin.ac.jp/>）図書館のカウンターでおたずねください

利用する図書館へ行き、貸出を受けるための手続きをする。

1回3冊まで、2週間借りられます。

山手
コンソーシアム



山手線沿線私立大学図書館コンソーシアム

山手線沿線私立大学図書館コンソーシアム（略称：山手コンソーシアム。加盟図書館：学習院大学、青山学院大

います。利用方法等詳細については、ホームページにアクセスするか、カウンターでおたずねください。昨年4月から12月までに、学習院大学の学生・教職員が他大学の図書を借りるために登録した人数は49名で、トップが明治大学の18名でした。所属別では、学生が30名、ついで院生が15名でした。（青山学院大学と立教大学は貸出手続きの方法が異なるため比較できません）

学、國學院大学、東洋大学、法政大学、明治大学、明治学院大学、立教大学の8大学）でも、身分証明書または学生証を提示すれば、館内閲覧ができます。また、昨年の4月から、図書の貸出も始まって

本学学生等の他大学登録者（大学別・所属別）山手コンソーシアム

平成13年4月 - 12月

所属 大学名	学 部 生				大 学 院 生				教職員	その他	計
	法学部	経済学部	文学部	理学部	人文科学	自然科学	法学・政治	経済・経営			
國 學 院			4		1						5
東 洋			4			1				1	6
法 政	2		4		1				1		8
明 治	1	2	9	1	3				2		18
明治学院			3		7		2				12
計	3	2	24	1	12	1	2		3	1	49

注) 1. 青山学院大学と立教大学は別の方法で貸出しを行っているため、この表から外してあります。

2. 学習院大学に登録している他大学の登録者は、116名です。

（運用課 久保田安子）

各図書館のルールを守りましょう

資料はみんなのものです。大切に扱いましょう。

ちょっと書庫まで！Nタビュー 《特別編2》

—— 法経図書センターAVコーナーを訪ねました ——

01

おおよそのタイトル数と収集資料の傾向、種類について教えてください。

法学部・経済学部の図書館ということで、社会科学関係の資料がほとんどですが、「なぜ、法経図書センターに？」というようなユニークなものもあります。

たとえば、ビデオテープでは、NHKで放映された人形劇の「三国志」「雅楽」「ポーランド映画傑作選」「大江健三郎の文学再入門」ナチ収容所を描いた「SHOAH」「シンドラーのリスト」等・・・。

CDでは、クラシックの名曲、世界の民族音楽、アメリカ大統領の就任演説等・・・。

カセットテープでは、ロシア文学、シェイクスピアからワイルド・スワンまで、様々な文学作品の朗読版、英語学習用等・・・。

LDでは、ワグナーやモーツァルトのオペラ、外国のバレエ等・・・。

02

法学部、経済学部以外の学生も利用できますか？

もちろん、利用できます！

03

AV資料を使いたいときの手続きについて教えてください。

ビデオ、CD、LDが一台で利用できる機器が12台。2人いっしょに利用できる機器もあります。手続きは不要です。ただし、ダビングはできません。利用の終わったテープは必ず巻き戻してから棚に返してください。

04

家でゆっくり楽しみたいときのために、貸出はしてもらえますか？

CDとカセットテープ等の録音資料は、本と同じ条件で館外貸出できます！

ビデオテープ、LDは館外貸出できません。

05

最後にひとこと・・・。

大学内で唯一のAVコーナーです。けっこう掘り出しものがみつかるかもしれません。ビデオの持ち込みもできますので、(公序良俗に反するものは、×です・・・)どうぞ、ご利用ください。



～ ～ ～ ありがとうございました ～ ～ ～

(閲覧サービス係 渡邊さち子さんにお話を伺いました)

図書館があなたの味方になります!!

大学図書館館内ツアー、OPACセミナーのご案内

授業で課題が出されたり、レポート提出を求められたとき、ゼミで発表しなければならないとき、それこそ試験のとき、人より一歩先んじて図書館を味方しておくとし心強いはずです。

下記の企画に、ぜひご参加ください。

大学図書館 館内ツアー	大学図書館館内施設および基本的サービスを案内します。図書館の使い方を覚えよう。	4月22日(月)～4月26日(金) 毎日 10:40～11:40 16:20～17:20 の各2回	集合場所: 大学図書館1階カウンター前
OPACセミナー	学内所蔵資料の探し方を教えます。今までうまく探せなかった人もこれでOK。	5月13日(月) 5月14日(火) 5月17日(金) } 16:20～17:20	実施場所: 大学図書館3階 第2コンピュータ利用閲覧室
院生個別相談会	ゼミなどで後輩たちの文献指導を担当している院生の皆さんへ! 図書館がバックアップします。	随時 (要事前連絡)	連絡先: 大学図書館2階 レファレンス・カウンター

いずれも原則として事前申込制です。ただし、当日の飛び入り参加が可能な場合もあります。なお、日程および場所に変更があった場合は、掲示でお知らせします。また、上記日程に参加できない方には個別対応をしますので、2階レファレンス・カウンターにご相談ください。

情報検索サービス(NACISIS-IR)の大学内公開のお知らせ

広い分野のデータベースが収められているNACISIS-IRが、大学図書館ホームページからアクセスして大学内どこからでも自由に利用できるようになりました。詳細は、2階レファレンス・カウンターにお問い合わせください。
(運用課)

変わらなくちゃ

大学図書館

大学図書館では昨年7月に「利用者アンケート」を実施しました。大は「建て替えて欲しい」から小は「ホチキスを貸して欲しい」まで様々な要望が寄せられました。その中から、すぐに対応できそうなこと(あまりお金をかけずに!)を検討して、もう既に何件かは実行しています。例えば屋上休憩室とグループ閲覧室の開室時間を延長し、午後8時の閉館時まで利用できるようにしたこと、館内閲覧の手続きを簡

略化して閲覧証を記入する手間を省いたこと、語学の辞書を2階の参考図書室以外に1階開架図書室と3階閲覧室にも置いたこと、ホチキスやのり・はさみを自由に利用できるようにしたこと等々です。少しお金がかかることは、来年度の予算要求に向けて、もっと大きな事は図書館の中長期計画として検討していきたいと考えています。

(運用課)

■「来ぶらり」のバックナンバーは大学図書館ホームページ (<http://www.glim.gakushuin.ac.jp/>) で公開しています。■

来ぶらり No.69 2002年4月1日発行

発行責任者: 黒田成俊 編集委員: 伊藤 修・倉持仁志

学習院大学図書館 〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

☎03-3986-0221(代) 内239㉞(参考) 内239㉟(閲覧) 03-5992-100㉞(閲覧直通)